

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
2. (社福)恩賜財団 母子愛育会	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 3.愛育班員等研修会 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 5.専門里親養成教育の開催	1.目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させる。自治体の保健師100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせる。自治体勤務の栄養士30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成する。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供する。医師・助産師・看護師290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高める。先天性代謝異常症等検査技術者50名 2.目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供する。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件 3.市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催10回 4.育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。 5.専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育する。100名	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。 3.愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。 5.専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。
3. (財)家庭保健生活指導センター	18.母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発	＊研修会を実施 目的:妊娠中および出産後の女性労働者への適切な配慮を求め、母健カードの活用を促す。 参加人数(対象者):740名(地域の保健関係者、産業保健の健康管理者等) 開催数、方法等:5回 北海道、東京都、愛知県、兵庫県、福岡県で実施 効果、その他:参加者のアンケートより当研修会について役に立ったという声が多かった。	

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	20. 助産師の確保と養成の推進・資質の向上	<p>第38回全国助産師教育協議会総会を開催            期間：平成14年5月24日（金）～25日（土）            ・「助産基礎教育におけるコア内容」の検討結果、「助産師必要数の検討」、「助産基礎教育の到達目標からみた教育内容・方法の検討 助産診断技術学：『妊娠期』」の案、「分娩期の助産学実習指導に関する調査・教育機関と臨床実習機関との連携」についての調査結果、「卒業後、助産師がもつべき能力の獲得について・卒業3年目までの教育プログラムの開発」についての調査結果等の報告がされた。</p> <p>全国助産師教育協議会発行            ・今年度のNEWS LETTER「実践に役立つ最新情報」では大石時子先生から「分娩中の胎児モニタリング：根拠ある方法はどれか」など洋雑誌からの論文が紹介された。            ・NEWS LETTER No.38 2003.2.25には、助産師 武藤香子さんの「助産師説 ままと赤ちゃんの家」が紹介された。開業2年目の助産師の活動として母親学級や性教育を担当。そのなかで「妊娠や出産や育児は人として自然な営み、EBMに基づいた安全で、暖かい雰囲気のある、喜びにあふれた助産を目標にする」という。</p> <p>第28回全国助産師教育協議会研修会            テーマ：受けるいのち・繋ぐいのちー助産のぬくもりー            期日：平成15年3月15日（土）・16日（日）            会場：聖路加看護大学アリスC・セントジョンメモリアルホール            内容：講演・佐藤初音「ひらくということを待つ」野辺明子</p>	<p>第39回全国助産婦教育協議会総会を開催            期間：平成15年5月16日（金）～17日（土）            場所：東京都立保健科学大学会員に対して「健やか親子21」の活動状況を報告する。            全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行            ・NEWS LETTER のなかに、関連記事を取りあげる。委託検討課題・現在行っている妊娠            ・分娩期ケアの能力達成目標の検討、および教育方法モデルの検討を継続する。            ・参加者主体の保健指導方法について、今年度の研修会テーマに取り上げる。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
16.(社)全国保健センター連合会	15.16	<p>*講習会(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.妊産婦体操実践指導員養成講習会            目的:健やか親子21第2課題のテーマをもとに、妊娠・分娩・産褥期におけるこころの働きや生理諸機能を回復・維持・向上し、母子の健康水準を保持・増進、快適なお産を進めるために、個々の状況に適した支援が行える指導員を養成する。            地区:東京都(東京厚生年金会館)、            基礎コース:平成14年8月6日・7日(27名)            応用コース:平成14年8月8日・9日(5名)            総合コース:平成14年8月6日～9日(29名)</p> <p>2.東西ブロック別母子保健体操普及指導講習会            目的:市町村において実施される「母親学級」「妊産婦体操指導」を保健師・助産師を対象に講習。            東ブロック:平成14年9月5日・6日 茨城県(72名参加)            西ブロック:平成14年7月25日・26日 奈良県(59名参加)</p> <p>*出版物等(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載            2.妊産婦・出産関連のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布</p> <p>*ホームページによる情報提供(テーマ:上記のいずれも)</p>	<p>*講習会(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.東西ブロック別親と子のいきいき学級セミナー(旧称:母子保健体操普及指導講習会)            目的:健やか親子21推進の一環として、親になるための準備として「両親(母親)学級」のプログラミング・実習(妊産婦体操等)等の支援方法を研修する。            東ブロック:平成15年7月24日・25日 福島県            西ブロック:平成15年6月5日・6日 島根県2.女性のためのエクササイズ中央セミナー【仮称】(旧称:妊産婦体操実践指導員養成講習会)            目的:従来の妊産婦体操の指導内容を基礎に、女性のためのエクササイズとしてプログラムを拡充、女性の一生(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)を通じた健康づくりの基本的知識とエクササイズの実際を習得する。            地区:東京都 期日:平成15年8月5～8日</p> <p>*出版物等(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載            2.妊産婦・出産関連のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布</p>
20.(社)日本医師会	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上	<p>平成14年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催            平成14年12月7日(土)            テーマ「周産期医療をとりまく環境整備 - よりよい医療提供のために」            対象:日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員            参加人数:約170人</p>	<p>平成15年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催予定            対象:日本医師会会員            日本産科婦人科医会会員            参加人数:200人を予定</p>
22.(社)日本家族計画協会	(別紙参照)	(別紙参照)	(別紙参照)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会	15.満足できる妊娠・出産への支援 22.不妊治療を受ける際の環境整備と関係者の資質向上(カウンセリングなどの提供等)	15.1.参加型妊産婦のトレーナーズ研修 (目的)保健指導の指導者自身が相手をひきつける自らの力を発見し、マンネリ化しやすい母親学級や育児指導などの魅力的な展開ができる。 (内容)・ゲームエクササイズからの発見 ・参加型研修体験 ・役割、生き方、あり方の再考 (日時)平成14年5月16日～31日<3日間>(清瀬)定員50名 平成14年5月20日～22日<3日間>(神戸)定員50名 2.フリースタイル出産の援助技術 (目的)安全で安楽な分娩を支援する柔軟で具体的な援助方法を学ぶ。 (内容)・アクティブバース ・分娩時ルチンワークの見直し ・フリースタイル出産 (日時)平成14年9月30日～10月1日<2日間>(清瀬)定員50名 22.1.不妊看護認定看護師の育成(神戸研修センター) (目的)施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 (内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論・不妊看護援助論・不妊看護のマネージメント ほか (定員)20名 (期間)6ヶ月 平成13年10月～平成14年3月	15.1.参加型妊産婦のトレーナーズ研修(看護教育・研究センター/清瀬・神戸) (目的)保健指導の指導者自身が相手をひきつける自らの力を発見し、マンネリ化しやすい母親学級や育児指導などの魅力的な展開ができる。 (内容)・ゲームエクササイズからの発見 ・参加型研修体験 ・役割、生き方、あり方の再考 (日時)平成15年5月14日～16日<3日間>(清瀬)定員50名 平成16年2月16日～18日<3日間>(神戸)定員100名 2.フリースタイル出産の援助技術(看護教育・研究センター) (目的)妊産婦のニーズに応え、個を尊重した安全で安楽な分娩を支援する具体的な援助法を学ぶ (内容)・アクティブバースにおける看護職の役割 ・分娩時ルチンワークの見直し ・医療施設におけるアクティブバース ・フリースタイル出産の技術演習 (日時)平成15年6月19日～20日<2日間>(清瀬)定員80名 16.1.母子のメンタルヘルスケア(神戸研修センター) (目的)妊産婦ならびに育児中の母親のメンタルヘルスを学ぶとともに、母子保健に携わる看護職および他の専門職、関係機関と連携を図るための知識を得る。 (内容)・妊産婦の心理とケア ・乳幼児の発育と育児支援 ・精神科疾患を持つ妊産婦のケア ・周産期の死を経験した両親へのメンタルヘルス ・地域におけるメンタルヘルスケア (日時)平成15年12月10日～12日<2日間>(神

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会			<p>22.1.不妊看護認定看護師の育成(神戸研修センター)</p> <p>(目的)施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。</p> <p>(内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論・不妊看護援助論・不妊看護のマネージメント ほか</p> <p>(定員)20名 (期間)6ヶ月 平成15年10月～平成16年3月)</p> <p>2.生殖医療と不妊看護の役割(神戸研修センター)</p> <p>(目的)生殖にかかわる医療の進展と倫理的課題について不妊看護の果たす役割を考える。</p> <p>(内容)生殖医療の動向 ・生命倫理・出生前診断 ・自己決定のための支援 ・不妊看護</p>
26.(社)日本産科婦人科学会	<p>14.妊産婦死亡の防止</p> <p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>21.「不妊専門相談センターの整備と機能の向上」</p>	<p>14.「健やか親子21」では、妊産婦死亡を10年間に1/2までに減少させることを目標としている。その目標実現の為に、一次(助産院を含む)・二次・三次施設の病・病連携、病・診連携の更なる促進を計り安全性を高める。</p> <p>15.「共通認識としての提言」</p> <p>妊娠・分娩における「安全性」と「快適性」について安全性と快適性は産科に携わる医師の間では時に相反する言葉として捉えられてきたが、昨年度からの6回の幹事会での検討で、妊娠・分娩を積極的に展開する上では、車の両輪を表わす言葉として捉えるべきであるとの結論に達することができた。即ち医療、施設側は分娩の快適性の確保に努力し、助産師側は安全性に努力すべきである。</p> <p>分娩の「快適性」</p> <p>施設側が助産所分娩から学ぶべきものにバースプランという概念がある。妊産婦は分娩様式や授乳方法などについて自主的な選択としてバースプランを立てる。この企画立案を達成することで快適な分娩が具体化するとも考えており、その意味でもバースプランを立てることの意義は大きいので、この概念を認める努力が大切である。</p> <p>21.今年度は不妊相談センターの整備の重要性を認識するにとどまった。次年度の活動を期待したい。</p>	<p>14.15年度も前年度に引続き、一次・二次・三次施設間の病・病連携、病・診連携の促進に努める。</p> <p>15. 助産施設等における安全性を確保する為に多施設における妊娠・分娩の転機についてデータを集積し、予期せぬハイリスクの妊産婦数の詳細な検討を行う。</p> <p>診療所・病院などの産科施設における快適性を促進する為に、妊産婦が企画立案するバースプランについて十分なディスカッションを行い、実施に向けての具体策を講ずる。</p> <p>21.各地方自治体が計画し実施しているセンターの整備状況を調査し、更なる促進のためのアクションプランを立てる。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
30. 日本周産期学会	19	学術集会を実施 第21回総会・学術集会 会 長:中林正雄 日 時:平成15年1月17日(金).18日(土) 場 所:東京プリンスホテル 日 程:1月17日(金)常任幹事会.幹事会.プレコンgres. 懇親会 プレコンgres「日米における周産期の医療経済」 1月18日(土) シンポジウム テーマ:21世紀の周産期医療システム:問	
36. 日本助産学会	15.満足できる妊娠・出産への支援 20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上	15. 委員会活動 ・委員会報告「施設が妊産婦に示すケア(サービス)内容」の商業誌掲載日本助産学会が表明した「日本の助産婦が持つべき実践能力と責任範囲」を基盤として、業務・教育検討委員会は平成13年度にその具体的なケア内容と方法を示した「施設が妊産婦に示すケア(サービス)内容」を報告した。その内容を商業誌ペリネイタルケアの通巻270号(9月号)から273号(12月号)に、それぞれ「妊娠期(その1)」「妊娠期(その2)」「分娩期」「産褥期」のケア(サービス)内容として掲載した。 ・業務・教育検討委員会の平成14年度の検討課題は、妊産婦と助産師の情報や記録の共有化を図ることをねらいに「助産師業務における情報開示」とした。本年度は助産記録モデルの検討・作成に向けて、海外各国からの資料の収集を行った。 研究助成 ・平成13年度の日本助産学会奨励研究「出産に関わる継続したケアシステムの消費者と提供者への効果」の結果を、本年度第17回日本助産学会学術集会にて公表した。 産婦が捉えたケアシステムの現状 - 分娩室における助産婦の人数についての評価を中心に - 産婦が捉えるケアシステムの現状を質的に明らかにするために分娩室の助産婦の人数についての産婦の評価について調査した。その結果、分娩室の助産婦の人数について産婦が行った評価からは、分娩室におけるケアや産婦・助産婦関係、助産婦の役割、個別ケアの欲求から見た病院の管理体制の現状と問題点が明らかにされた。その中で、産婦が求めている分娩期ケアとは、助産婦の人数に関係なく、提供してほしいケアが【提供してほしい時に提供される】こと、見られていると感じない程度の注目が【傍についている】中であること、分娩中は一人にさせられることなく【安心感がある】こと、【出産がうまくいく】ことを保証できるケアシステムであった。このことは、産婦の安全	15. 研究助成 本学会はわが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に、毎年、学術奨励研究ならびに委託研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表している。平成15年度の委託研究は、「健やか親子21」の課題2に関連した研究課題について公募をした。ちなみに、学術奨励課題は、助産学の発展、助産実践の改善と開発、その他母子保健領域の学際的調査、研究等である。 平成15年3月20日に応募を締め切り、委託研究4件、奨励研究6件の応募があった。本年度の採用予定は各2件合計4件で、現在審査中である。 助成規模 学術奨励研究助成:30万円/1件 委託研究助成:50万円/1件 委員会活動 業務・教育検討委員会の課検討課題は昨年度から継続して、妊産婦と助産師の情報や記録の共有化を図ることをねらいとした「助産師業務における情報開示」とする。本年度は妊娠期から産褥期までの健診記録をニュージ-ランドの母子管理記録をモデルにして試案を作成する。作成した試案は助産所でプレテストとして使用してもらい、記録の構成、内容、記述法の是非、対象の反応等の意見を参考に、母子管理記録として総体的な検討を行う。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
36. 日本助産学会		助産モデルの展開を阻む現実 - 病院に勤務する助産師から見たケアシステムの問題点 - 出産に関わるケアの質の評価を行う上でその背景となるケアシステムに関する助産師の「生の声」を拾うために、ケアシステム全般に対する意見の自由記載部分の回答を分析した。その結果、病院に勤務する助産師から見たケアシステムの問題点は、いずれも「助産モデル」の展開を阻む現実として改善が急務である課題として見出された。その中で、助産師がケアシステム上の問題点、産科医療の中で行われる助産ケアの問題点として答えていたことは、今回の調査で70.2%施設にみられた産科の混合病棟化システムの弊害であることが考察され、ケアの質を向上させ維	
36. 日本助産学会		20. ワークショップ開催 平成14年12月14日(土)13:30～16:00 参加者:40名 テーマ:「リサーチクエストと研究計画そして論文を仕上げるまで」 根拠に裏付けられた、より良い助産実践のもととなる「研究」における助産師の資質の向上を目指し企画された。会員のみならず、非会員、学生の参加もみられ、良い学習の機会となった。 学会集會開催 平成15年3月22日・23日 沖縄コンベンションセンター 参加者:約500名 メインテーマ:「うまんちゅぬ生命、守り伝える助産ケア」 1) 会長講演:異文化と助産活動 学会長 加藤尚美(沖縄県立看護大学) 2) 教育講演:専門職における看護のリーダーシップ 3) 特別講演:たくましい沖縄の「おばあ」に学ぶ 4) シンポジウム:守り伝える助産ケア 5) ワークショップ: 妊産婦の力を引き出すケア 助産の質向上のための研究	20. 学会集會開催 第18回日本助産学会学会集會 会 期:平成16年3月6日(土)～7日(日) テーマ:喜びとともに生まれる、その先の助産ケア Joyful Midwifery with Women 2004 in Tokyo 学会長:松岡 恵(東京医科歯科大学) 会 場:3月6日...東京大学安田講堂 3月7日...学術総合センター(一ツ橋)ならびに学士会館本館 招聘講演: Joyful Midwifery with Women in New Zealand 演者: Sandy Gray(ニュージーランド助産師協会会長) シンポジウム1題、ワークショップ6題を企画中であり、また一般講演も広く募集する。詳細は本学会ホームページでも情報提供、随時更新していく予定である。 ワークショップ開催 次期学会集會会長が学会集會を関連付けて、前年にワークショップを企画することになっている。詳細は本学会ホームページ、学会誌、ニュースレター等で広報する。

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
36. 日本助産学会		<p>助産師教育に期待するもの          出産とアメニティーと安全          国際交流          チャンプルー討論会「子育ての文化を伝えよう」          6) 一般発表 口演 70題 示説 12題          人の命を尊び、人を大切に守り続ける第一人者として助産師を位置付け、日本の将来を担う人々を守り続け、そして質の高い助産ケアを提供したいという意味をこめ開催された。ワークショップでは「実践」「教育」「研究」のテーマでよい助産につながる新たな変革、守り伝える助産ケアとは何かが探索された。本学会国際援助システム委員会の計画でブラジルからのJICA研修生との交流会も企画され、大変好評な学術集会であった。</p> <p>学会誌発行 「日本助産学会誌」(ISSN0917 - 6357)          発行部数: 各1,300部          第16巻第1号(平成14年8月)          第16巻第2号(平成15年2月)          第16巻第3号(平成15年3月)          ニュースレター発行 「日本助産学会ニュースレター」          発行部数: 各1,300部          第38号(平成14年6月)          第39号(平成14年10月)          第40号(平成15年2月)</p> <p>国際協力事業          1) セーフマザーフード募金への協力          平成14年9月、第43回日本母性衛生学会において、日本助産学会、日本助産師会、日本看護協会の3団体で募金を行い、14万円を国際助産師連盟(ICM)本部に送金した。          2) スポンサー・ア・ミッドワイフ基金への協力          50万円を目標に募金活動を展開している。平成14年4</p>	<p>第6回世界周産期学会後援ならびにプログラム企画協力          平成15年9月13～15日に大阪で開催される第6回世界周産期学会を後援し、国際委員会メンバーがプログラム委員として協力している。9月14・15日には助産分科会が開催される予定であり、国際学会において助産学の発展ならびに助産師の質の向上、より良い助産ケアをめざした活発な国際交流が期待される</p> <p>学会誌発行          「日本助産学会誌」(ISSN0917 - 6357) 発行部数: 各1,300部第17巻第1号(平成15年6月)、第17巻第2号(平成15年12月)、第17巻第3号(平成16年3月)に発行予定である。</p> <p>ニュースレター発行          「日本助産学会ニュースレター」 発行部数: 各1,300部年3回、第41号、第42号、第43号を発行予定である。</p> <p>国際協力事業          本年度も国際助産師連盟(ICM)のセーフマザーフード募金、スポンサー・ア・ミッドワイフ基金に協力し、募金活動を展開する。</p>



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会	14.15.16.18.19.20	14)、19)に対して (1)助産所における取扱い基準および急変時の対応のためのガイドラインを作成した。(厚生科学研究「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」(青野班)への協力) (2)安全対策委員会で、助産所間の相互評価制度を検討した。 (3)出産の安全性と快適性に関する研修会 自然分娩セミナー 3回開催(受講生 延77名) 分娩リスク・マネージメント 1回開催(受講生 延15名) アクティブバース研修会 1回開催(受講生 延64名) 産科ME診断技法 1回開催(受講生 延11名) 助産所部会集會 1回開催(受講生 延35名) 15)に対して (1)出産環境の整備に関するシンポジウムを1回開催(参加者90名) 2)全国6地区でブロック研修会を開催(参加者延 915名) 16)に対して 産後ケア事業の実施 21ヶ所の助産所で、81件の利用があった。 18)に対して 開業セミナー等、研修会での啓蒙に努めた。(受講生44名) 20)に対して (1)国等の関係機関に要望書を提出した。	14)、19)に対して (1)「助産所における取扱い基準および急変時の対応のためのガイドライン」の普及平成14年度厚生科学研究「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」(青野班作成分) 分娩を取り扱う全助産所へのガイドラインの送付 関連専門団体との検討会の開催 助産所分娩の評価に関する調査 平成15年度助産所分娩5000例について、前向き調査を行う。 (2)助産所における安全性推進対策 安全対策室の設置 安全対策委員会活動 助産所評価基準の作成 (3)出産の安全性と快適性に関する研修会の開催 救急対応強化のための研修会 自然分娩セミナー 分娩リスクマネージメント アクティブバース研修会 産科ME診断技法 15)に対して 全国6地区でブロック研修会を開催
38.日本性感症学会	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上	性感症 診断・治療ガイドライン2002年版を作成し、(財)性の健康医学財団に発行・配布を委託し、約4,000部を当学会の会員、および各自治体、保健所、各医師会、各大学医学部、関係政府機関等に送付して、性感症の診断・治療のレベルの向上に努めた。	性感症 診断・治療ガイドライン2004版の作成に向けて準備作業を行う。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
39. 日本赤十字社	14.15.16.17.18.19.20.23.24.25.29.30.36.50.52.53.60.61.62	<p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62 * 母親学級：全国で73の赤十字病院にて実施</p> <p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62 * 妊産婦健康相談：全国で65の赤十字病院にて実施</p> <p>テーマ14,15,18,23,61</p> <p>* 無痛分娩講習会：全国で20の赤十字に病院にて実施</p> <p>～ について、「平成13年度に引き続き、母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、妊娠から出産・産後における身体・心のケアを助産師・看護師・医師を中心に多くの赤十字病院にて実施した。</p> <p>テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60</p> <p>* 総合周産期母子医療センター：全国で5の赤十字病院に設置</p> <p>* 施設地域周産期母子医療センター：全国で9の赤十字病院に設置</p> <p>* 新生児特定集中治療管理室：全国で32(385床)の赤十字病院に設置</p> <p>について、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した診療・管理等を行った。</p> <p>テーマ20</p> <p>* 日本赤十字社助産師学校(広尾・大阪)：14年度卒業生48名</p> <p>について、助産師の確保と養成・資質の向上等を行った。</p>	<p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 母親学級</p> <p>テーマ14,15,16,17,18,23,24,25,29,30,50,52,60,61,62</p> <p>* 妊産婦健康相談</p> <p>テーマ14,15,18,23,61</p> <p>* 無痛分娩講習会</p> <p>～ について、「母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に、14年度に引き続き「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、妊娠から出産・産後における身体・心のケアを助産師・看護師・医師を中心に実施すること。</p> <p>テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60</p> <p>* 総合周産期母子医療センター：全国で5の赤十字病院に設置</p> <p>* 施設地域周産期母子医療センター：全国で9の赤十字病院に設置</p> <p>* 新生児特定集中治療管理室：全国で32(385床)の赤十字病院に設置</p> <p>について、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した診療・管理等を行うこと。</p> <p>テーマ20</p> <p>* 日本赤十字社助産師学校(広尾・大阪)</p> <p>について助産師の確保と養成の推進・資質の向</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会	15.満足できる妊娠・出産への支援 20.産婦人科医師・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 22.不妊治療を受ける際の環境の整備と関係者の資質の向上	15.シンポジウム「正常分娩について」 1) 年齢 若年・高齢 2) 分娩誘発 3) 無痛分娩 4) WHO21ヶ条について 遠藤 力、天野 完、岩崎 寛、木下勝之先生のシンポジストを中心に問題点をとりあげ総合討論を行った。 20.このテーマに関連し近藤潤子先生(天使大学学長)より「助産師業務の社会的地位と国際比較」について教育講演が行われた。 22.シンポジウム「不妊治療と周産期」を取り上げ 1) 多胎妊娠防止の観点から 2) 不妊治療による双胎の周産期管理 3) 不妊治療後妊娠と母子保健(精神的ケア) 4) 不妊治療による出産児の問題点についてシンポジスト、苛原 稔、菅原準一、斉藤康子、柴原浩章先生を中心に問題点の指摘と総合討論を行った。シンポジウムの要旨は、本学会機関誌「母性衛生」43巻4号(2002年)に掲載した。 参加人数(対象者)約2,000名(医師・助産師・保健師・看護師など) 開催 第43回日本母性衛生学会学術集会 場所 旭川市民文化会館 効果 対象者に15.20.22を中心に具体的問題点	15.満足できる妊娠・出産への支援 テーマに沿い、開業産科医師、開業助産師の立場から、センター病院産科医師・助産師の立場からシンポジウムをとりあげ総合討論を行う。 22.不妊治療を受ける際の環境の整備と関係者の資質の向上 本年度第44回日本母性衛生学会学術集会において下記によりシンポジウムをとりあげ、このテーマについてシンポジスト、会員ともども総合討論を行う。 テーマ 「不妊に悩む夫婦の展望」「不妊夫婦支援の生殖医療専門看護師としてのあり方」「不妊夫婦への支援の実際」「不育症に対する精神的支援」 講師 未定 期日 15年10月9,10日 場所 宇都宮市 予定参加人員 2,000名 効果 課題2に相応する問題点をとりあげ改善策を会員全体で考える。

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
45.(社)日本産婦人科医会	<p>14.妊産婦死亡の防止</p> <p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>16.産後うつ病を含む心のケアの促進</p> <p>18.母性健康管理指導事項連絡カードの普及・啓発</p> <p>19.周産期医療ネットワークの整備と機能の向上</p> <p>20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上</p> <p>21.不妊専門相談センターの整備と機能の向上</p>	<p>14.</p> <p>1.全国妊産婦死亡実態調査の実施 平成9年度～13年度までをまとめ、最近の妊産婦死亡の実態を把握した。</p> <p>15.</p> <p>1.「健やか親子21推進協議会」・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議し、共通認識として運動方針を作成した。</p> <p>2.日本産科婦人科学会、日本母乳の会、日本助産師会とともに協議を繰り返し、「幹事団体からの提言」を公表した。</p> <p>3.出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業の推進出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業について、都道府県支部にアンケートを実施し、事業の実施要綱の問題点等取り組みの実態を把握した。</p> <p>4.新生児聴覚スクリーニングの実態調査を行い、調査結果を作成するとともに全国展開に向け検討を行った。さらに、「聴覚スクリーニングの手引き」をhome pageに掲載し正しい検査の普及に努めた。</p> <p>5.助産師、自宅分娩に関する問題点の検討平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業の一環として、「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」に協力し、実情の把握を目的として「分娩の安全性」に関するアンケートを実施し取りまとめ、「正常分娩急変時対応のためのガイドラインの作成及びシステムづくり」に協力した。</p> <p>6.昨年度からの継続事業として行っている厚生労働省産</p>	<p>14.</p> <p>1.全国妊産婦死亡実態調査を実施し、経年的な傾向の変化を検討する。さらに問題点を抽出し、妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行う。</p> <p>15.</p> <p>1.すこやか親子21推進協議会・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。</p> <p>2.平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「助産所における快適で安全な妊娠・出産環境の確保に関する研究調査」における「病診連携に関して、正常分娩緊急時の搬送に対応するためのガイドラインの作成とシステムづくり」を支援する一環として、「分娩の安全性」に関する調査・研究を継続して行う。</p> <p>3.出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業の推進出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)事業の実施要綱が一部改正されたことを受けて事業の実施促進に協力する。(日本産婦人科医会報へ掲載し、会員に周知徹底を図る。)</p> <p>4.新生児聴覚検査の正しい普及に努め、全国的なスクリーニングの確立に努める。</p> <p>5.厚生労働省雇用均等・児童家庭局長から委託された、労働者数50名未満の事業所で働く事業主および女性労働者を対象とした母性健康管理に関する電話相談事業を実施する。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
45.(社)日本産婦人科医会		<p>7. 下記の講演会に出席し講演等を行った。</p> <p>1) 第23回これからの母子保健を考えるシンポジウム「新しい母子健康手帳とその利用」演題「すこやかな妊娠と出産のために」(11月28日・東京都児童会館ホール)</p> <p>2) 平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究推進事業公開シンポジウム「子ども・家庭・社会の変化を見つめ直す～ともに学び、支えあう地域社会を目指して～」演題「安全性と快適性の両立をめざして」(平成15年3月4日・J Aホール)</p> <p>8. 研修ノート「分娩管理・よりよいお産のために」発行。日本産婦人科医会報等で分娩の快適性を確保するために必要な情報を会員に周知徹底を図った。</p> <p>16.</p> <p>1. 妊婦・産褥婦やその家族が持つ不安は多種多様となり、産婦人科医が対応を迫られる問題は、妊娠・出産への不安ばかりではなく、倫理的問題を多く含む出生前診断から母児の出産後メンタルケア(特にNICU入院症例)までさまざまであり、個人の産婦人科医では対応不可能な状況を受けて、これらの問題にどう対処すべきか、どこどのような施設で、どのような人に相談ののってもらえるか等の情報を把握する目的で、「妊娠・育児に関するカウンセリング」について全国調査を実施した。</p> <p>18.</p> <p>1. 本年度4月から上記カードが母子健康手帳に添付さ</p>	<p>16.</p> <p>1. 昨年度実施した「妊娠・育児に関するカウンセリング」についての全国調査を集計、資料として会員へ配付する。</p> <p>18.</p> <p>1. 上記カードが母子健康手帳に添付されており、当会役員を通じ、継続して啓発に努める。(本会 home page に掲載。)</p> <p>19.</p> <p>1. 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」に関連して、(セミ)オープンシステムの充実に向けて、調査・研究を行う。</p> <p>2. 全国的な新生児聴覚スクリーニング検査について、継続して検討を行う。</p> <p>3. 本会医療対策部で行った「助産婦さんへのアンケート調査結果」を中心として、助産所および自宅分娩に関する問題点を検討する。</p> <p>4. NICU回転率の実態調査について 近年の生殖補助医療の進歩による多胎児の増加や長期入院児の増加などによるNICUベッド回転率の低下と、NICU入院児をかかえる家族の育児負担、精神的負担、経済的負担が社会的問題化していることにより、その実態調査を行い今後の新生児医療シ</p> <p>5. 総合周産期母子医療センター設置の推進。地域毎の充足率の把握に努める。</p> <p>6. 早産防止に関する研究周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を、当医会の岡井常務理事が会長として開始する。当医会からは、他に朝倉、田中各常務理事が世話人として参加し、児の周産期予後の改善点の把握に努める。</p> <p>20.</p> <p>1. 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」に関連して、(セミ)オープンシステムの充実に向けて、調査・研究を行う。</p> <p>2. 本会で行った「助産婦さんへのアンケート調査結果」を中心として、助産所および自宅分娩に関する問題点を検討する。</p> <p>21.</p> <p>1. 不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。</p>
45.(社)日本産婦人科医会		<p>19.</p> <p>1. 平成14年度家族計画・母体保護法指導者講習会において、「周産期医療をとりまく環境整備 よりよい医療提供のために」産婦人科医の立場から講演を行った(講演者:西島正博)。(平成14年12月7日 場所:日本医師会館 対象:母体保護法指導者約173名出席) 2. 平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」の中で分担研究として、産科リスクを軽減する体制について(産科オープンシステムについて)研究を実施した。 3. 総合周産期母子医療センター設置の推進のため、現在設置数の把握し、施設基準の改正を提言した。</p> <p>20.</p> <p>1. 平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」の中で分担研究として、産科リスクを軽減する体制について(産科オープンシステムについて)研究を実施した。</p> <p>21.</p> <p>1. 妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数</p>	<p>5. 総合周産期母子医療センター設置の推進。地域毎の充足率の把握に努める。</p> <p>6. 早産防止に関する研究周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を、当医会の岡井常務理事が会長として開始する。当医会からは、他に朝倉、田中各常務理事が世話人として参加し、児の周産期予後の改善点の把握に努める。</p> <p>20.</p> <p>1. 平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」に関連して、(セミ)オープンシステムの充実に向けて、調査・研究を行う。</p> <p>2. 本会で行った「助産婦さんへのアンケート調査結果」を中心として、助産所および自宅分娩に関する問題点を検討する。</p> <p>21.</p> <p>1. 不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会	15.16.産科施設における母子同室の導入、母乳育児の推進 15.満足できる妊娠・出産への支援	1. 「健やか親子21推進協議会・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保をと不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議し、共通認識の論議を重ねた。日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本助産師会頭ともに協議をくり返し「幹事団体からの提案」を公表した。幹事団体の世話人団体として、議事録のまとめした。 第11回母乳育児シンポジウムを開催した。8月3日(土)、4日(日)。 テーマ:特別後援:『地霊たちの子』石牟礼道子・作家 基調講演:『母乳育児 過去・現在・未来 何が母子を支えるのか -』南部春生・朋友会札幌産科婦人科 シンポジウム1:『ハイリスク妊娠・出産における母乳育児の推進』 シンポジウム :『出産前後をめぐる問題と母乳育児』 母親と医療者との交流会:『母乳育児最新情報 - おっぱいを阻むもの』 目的:母乳育児の正しい知識の普及と医療者が取り組むための支援 参加人数(対象者):1100名(母親など、) 開催数、方法等:年に1回(世界母乳週間の8月の第1週の土日に開催) 仙台市・国際交流センター 効果 東北地区の母乳育児の広がりが見られる。 2ワークショップ開催・02年5月17日(土)、18日(日)大分市杉の井ホテル約70名参加 03年1月11日(金)、12日(日)富山市国際会議場約70名参加 目的:母乳育児普及のために、施設の指導的立場の方にさらに認識を深めていただき、実践を取り組んだ 参加人数:各70名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、)	15.16. 1. 健やか親子21推進協議会・課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保をと不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議し、共通認識のための論議を重ねていく。日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本助産師会頭ともに協議をくり返し今年度は入院中のアメニティとしての母子同室を提案し、論議をしていきたい。幹事団体の世話人団体として、議事録のまとめ、全体会議の提案をする方向で論議をする。  母乳育児・母子同室の推進 1. 第12回母乳育児シンポジウム開催。京都市、国立京都国際会館世界母乳週間の8月第1週8月2日(土)、3日(日)。 メインテーマ「21世紀の子育て支援の中核としての母乳育児」 特別講演:「世界の子供達」澤良世・ユニセフ駐日事務所 基調講演:「周産期から赤ちゃんを見ると」岡村博行・岡村産婦人科医院長 シンポジウム1「母乳育児を根づかせるために - 健やか親子21をみすえて」 シンポジウム2「産後1カ月までの母乳育児を支える工夫」 母親と医療者との交流会「聞いてください、聞かせてください、おっぱい育児」 参加人数予定1100人 目的:全国的な母乳育児普及のため、また、開催地域の母親支援ポスター作製、関西地区で母親向けのちらし作成、全国の産科のある病院の責任者、助産師、保健師学校等に案内配布

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会		3.全国母乳育児施設アンケート集計、発表 目的:産科施設における母乳育児、母子同室等の実態調査。日本全国の産科施設の約4680に配布。回収率32%。 効果:調査結果を「新母乳育児何でもQ&A」に掲載したため、母親達の選択に役立っている。出産直後からの母子同室が増えてきていることが判り、母乳育児も少しずつ母乳育児が広がり始めていることがわかってきた。 4.「赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital・BFH)を5施設、認定推薦。 目的:母乳育児を推進するために「母乳育児成功のための10か条」実践している病院をBFHにWHO・ユニセフに申請。本年度はくぼかわ病院(高知県)、黒川産婦人科(岩手県)、鳥取県立中央病院、宇津野医院(茨城県)、熊本市立熊本産院の5施設 効果:地域の母乳育児の促進、母親の要望にこたえる施設の増加し、母乳育児の広がり大きな役割を果たしている 5.シンポジウム記録集、ワークショップ記録集を発行 目的:母乳育児の正しい情報を広く普及させるため 効果:記録集を使って、施設の勉強会が開催される 6.母乳育児シリーズ『離乳食』を発行 目的:母乳だけで育てているお母さんの適切な離乳食の指導書がな伊野で、実態に合った小冊子を出版。 効果:産経新聞、読売新聞に掲載され、多くの反響を呼び、子育て不安の解消に役立っている7.各地の母親や医療者の会の支援 目的:母乳育児の最新情報の普及、母親達の育児支援 30人規模から100人規模まで、要請があれば、可能な限り	2.ワークショップ開催・03年10月25日(土)、26日(日)福島県飯坂市 約70名募集:各施設の責任者クラスに対するワークショップ東北地区の産科、小児科の案内配布 3.全国病院小児科(約1400)母乳育児施設アンケート調査結果発表母乳育児シンポジウム、小児保健学会などで報告 4. BFH(赤ちゃんにやさしい病院)を認定審査、認定3年後のクリーニング調査 目的:母乳育児成功のための10か条を遵守し、地域での母乳育児普及の役割を担うべく施設の調査・認定。 5. BFH認定病院の研修会 6. BFH認定申請希望の施設に対して、訪問、懇談会、講演会等による支援活動 目的:母乳育児をすすめるにあたって、施設でのコンセンサス作りのための勉強会 7.シンポジウム記録集、ワークショップ記録集を発行 8. 母乳育児シリーズ『母乳と薬』『卒乳』を発行 9. 各地の母親や医療者の会の支援、 10. 運営委員による講演会活動
46. 日本母乳の会		8.全国病院小児科(約1400)母乳育児施設アンケート調査 厚生科学研究の一環 目的:病院小児科医が母乳育児にどのように取り組んでいるか、また、どのような意識を持っているか。母親達への支援の様子を調べた。約1470へ配布。回答率は約32%。 効果:基本的に病院小児科は母乳育児支援に関心が低いことがわかった。乳業メーカーの栄養士による栄養指導の実態がわかり、今後の取り組みの方向性が示唆され	
47. (社)日本薬剤師会	特になし	特になし	15.満足できる妊娠・出産への支援 「妊娠と薬」、「授乳と薬」(仮称)などパンフレットの作成・配布(新規) 目的:妊娠前、妊娠中、授乳中の女性や子供を持つ親に対して、薬の安全な使用方法、薬の安全な服用方法、薬についての疑問・不安、誤飲防止、たばこが胎児に及ぼす影響、かかりつけ薬局の重要性等について情報提供を行うためのパンフレットを作成し、薬局等を通じて広く配布する。

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
49.(財)母子衛生研究会	14～16.18.等 妊娠・出産・育児全般に関すること	<p>* 母子保健教室等を実施</p> <p>目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を伝え快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごす。</p> <p>参加人数:16,000名(妊婦)</p> <p>開催数:79回(全国5地区)</p> <p>効果、その他:妊娠中の生活管理、行政サービスなどについて専門家の指導・助言が得られる。</p> <p>* パンフレットの作成・配布</p> <p>目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を得ることにより、快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとした母子健康手帳の副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」を作成し、配布する</p> <p>配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて妊娠届出者に配布</p> <p>配布部数:1,350,000部</p> <p>効果、その他:母子健康手帳の活用がよりいっそうはかられ、妊娠中や育児期の母子の生活管理、行政サービスなどについての基本的な知識が得られる。</p>	<p>* 母子保健教室等を継続実施</p> <p>参加人数:16,000名(妊婦)程度を予定</p> <p>開催数:78回(全国5地区)程度を予定</p> <p>* パンフレットの作成・配布(継続実施)</p> <p>母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」</p>
50.(社)母子保健推進会議	2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62	<p>1 平成14年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)の開催</p> <p>本年より本会議・厚生労働省・(社)恩賜財団母子愛育会・(社)日本家族計画協会・佐賀県・佐賀市の主催により開催するとともに永年地域母子保健活動に貢献のあった団体と個人に本会議会長表彰を行った。</p> <p>平成14年11月14日(木)</p> <p>特別講演「育児と育自...子どもと大人、同世代を生きる」</p> <p>講師 作家 落合 恵子</p> <p>シンポジウム</p> <p>テーマ「子どもの健やかなこころを育むために～健やか親子21の目指すもの～」</p> <p>コーディネーター (社)日本小児保健協会会長 前川 喜平</p> <p>シンポジスト 世田谷区烏山保健福祉センター 塩谷 博子</p> <p>地域ぐるみの子育てをすすめるひだまりの会 高山 静子</p> <p>佐賀新聞社報道部記者 エドワード・クランドール</p> <p>平成14年11月15日(金)</p> <p>シンポジウム</p> <p>テーマ「現代っ子の性を考える」</p> <p>司会進行 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫</p> <p>司会進行 NBCラジオ佐賀パーソナリティー 阿部 かおり</p> <p>シンポジスト 若者 男女 数名</p>	<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62</p> <p>1 平成15年母子保健家族計画全国大会の開催</p> <p>富山県富山市で開催される大会に主催団体として企画・準備・運営等を行う。</p> <p>期 日:平成15年11月6日(木) 7日(金)</p> <p>会 場:富山県民会館</p> <p>2 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施</p> <p>富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。</p> <p>3 第3回母子保健推進員全国大会の開催</p> <p>開催日:平成15年11月7日(金)</p> <p>会 場:富山県民会館</p> <p>5 母子保健推進員教育事業</p> <p>(1)ブロック母子保健事業研修会の開催</p> <p>(2)母子保健推進員研修会の開催</p> <p>(3)母子保健推進員県外交流特別研修会の開催</p> <p>(4)沖縄県母子保健特別対策の実施</p> <p>(5)母と子の健康を守るつどい</p> <p>(6)都道府県母子保健推進員協議会組織育成事業</p> <p>(7)母子保健指導書の制作配布</p>



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>行政説明 国民運動「健やか親子21」の推進を  厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長 谷口隆  思春期教育劇「未来へ」  沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」  シンポジウム「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」  司会 (社)母子保健推進会議常務理事 原澤 勇  アドバイザー NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子  講師 山口県母子保健推進協議会会長 林タカ枝  富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田民子  和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間歌子  長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中晃子  佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀裕子</p> <p>3 (社)母子保健推進会議会長表彰  1) 団体 (21)  2) 個人 (34)</p> <p>4 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催  日 時:平成14年11月14日(木) 17:15～19:00  会 場:佐賀市文化会館  内 容:母子保健推進員活動報告  出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)</p> <p>5 母子保健推進員教育事業  (1)ブロック別母子保健事業研修会の開催  本会議、開催県、(社)日本家族計画協会、(社)全国保健センター連合会との共催、厚生労働省、(社)日本助産師</p>	<p>母子保健推進員を対象とする指導書を制作する。  1) 指導書(手帳)  2) リーフレット  〔表 題〕 「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」  「元気に育てよう 私の赤ちゃん」</p> <p>6 本会議機関紙“母推さん”の刊行  「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104～115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動  10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。  妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布  〔表 題〕 「ママと赤ちゃんの健康チェック」  「支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう」  働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう  「健やか親子21」国民運動の推進</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>テーマ:子どもの心の安らかな発達支援のために          子どもの虐待防止を目指す地域システムづくり          思春期の心の健康づくり          若者の性を考える          妊娠・出産期の母子精神保健          育児不安と子どもの虐待          小児期における問題の早期発見と早期対応の取り組み</p> <p>1) 東北・北海道ブロック(秋田県) 250名 9月5日～6日          2) 関東・甲信越ブロック(東京都) 107名 8月29日～30日          3) 東海・近畿・北陸ブロック(京都府) 107名 8月29日～30日          4) 中国・四国ブロック(高知県) 86名 11月21日～22日          5) 九州ブロック(北九州市) 256名 8月22日～23日          6) 北海道(札幌市) 180名 11月15日</p> <p>(2)母子保健推進員研修会の開催          市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <p>1) 母子保健推進員活動報告          2) こどもの事故防止          3) 乳児期の歯科保健          4) 子育て支援          5) 歯科保健          6) 子どもの虐待          7) ドメスティック・バイオレンスと女性の人權          8) 思春期保健</p> <p>(3) 沖縄県母子保健特別対策の実施          沖縄県母子保健事業の促進をはかるため、沖縄県において母子保健推進員、市町村母子保健担当者を対象に、平</p>	<p>9 母子歯科保健知識の普及活動          (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催          (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布          [表 題] ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」          (3) 歯科保健パンフレットの委託制作          愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。          (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業          (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布          (6) 歯科保健指導用パネル制作配布</p> <p>10 妊婦等禁煙運動の推進          (1) ポスターの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」          (2) リーフレットの制作配布          [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」          (3) クリアファイルの制作配布          [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」          タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業</p> <p>12 子育て中の母親へのピア・カウンセラー養成事業</p> <p>13 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(4)母と子の健康を守るつどい          母子保健推進員の地域活動を助成し、県民の乳幼児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかるため「母と子の健康を守るつどい」を山口県阿東町で開催した。</p> <p>(5)ピアカウンセラー養成事業          新潟県五泉市において母子保健推進員に対して9日間コースでピアカウンセリング研修会を実施した。</p> <p>(6)母子保健指導書の制作頒布ならびにリーフレットの制作配布          母子保健推進員に対する指導書及び推進員訪問活動用リーフレットを制作配布し、母子保健事業の教育並びに啓発を行った。</p> <p>1)指導書          〔表題〕「母子保健推進員」          〔制作数〕1,500部          〔配布先〕母子保健推進員</p> <p>2)リーフレット          〔表題〕「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましょう」          「元気に育てよう 私の赤ちゃん」          〔制作数〕20,000部×2種          〔配布先〕母子保健推進員(研修会参加者)</p> <p>(7)都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業          母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。          富山県母子保健推進員連絡協議会          長野県保健補導員等連絡協議会          新潟県母子保健推進協議会          和歌山県母と子の健康づくり運動協議会</p>	<p>14 第15回手づくり健康教育媒体コンテストの開催          (財)予防医学事業中央会、(社)日本家族計画協会との共催で開催する。</p> <p>表彰最優秀賞 : 厚生労働大臣賞 1件          優秀賞 : 3件          佳作賞 : 若干          奨励賞 : 若干</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(8)茨城県北浦町視察研修            平成14年11月29日(金)に茨城県北浦町の母子保健推進員および、担当保健師13名が本会議に来訪。視察研修を行った。</p> <p>6 本会議機関紙「母推さん」の刊行            母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」- 母子保健推進員だより - (タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業            地域住民の参加により、子育て問題をテーマとする「母子保健・健全育成住民会議」を次の各県で開催した。            主な研修会の内容は            1)講演「心をことばにのせて」            2)絵本の読み聞かせ            3)講演「ダダこね育ちのすすめ」            4)シンポジウム「子育てに思うこと」他</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動            (1)10月を「母子保健強調月間」とし、(社)日本産婦人科医会、(社)日本小児保健協会など会員団体の協力、厚生労働省の後援を得て次の事業を実施した。            1)妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布            (表題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」- 支えよう21世紀の健やか親子 -            健診を忘れずに受けましょう            働く女性、事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう            母と子の健康をまもる運動            (主唱) 社団法人 母子保健推進会議</p>	

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>2) 母子保健啓発用パンフレットの制作配布            〔表 題〕「母子保健」第38号            〔制作数〕 2,600部            〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体、全国大会参加者</p> <p>9 母子歯科保健知識の普及運動            (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施            市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と併せて、母子保健推進員及び保健師、学校関係者等を対象に、次の各県で行った。            主な内容は、            1) 口腔清掃            2) 歯周病の原因と予防            3) 摂食機能の発達について            4) 歯科臨床の現場から            5) 噛み合わせと歯の健康            6) 歯科矯正            開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県</p> <p>(2) 歯科保健に関するテキストの制作配布            〔表 題〕「乳幼児歯科保健指導のポイント」(歯科保健指導者のために)            〔制作数〕 1,600部            〔配布先〕 歯科研修会開催県及び参加者(専門職)</p>	

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(3) 歯科保健パンフレットの委託制作  愛知県への委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。  〔表 題〕「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歳臼歯  〔制作数〕 81,000部  〔配布先〕 愛知県市町村及び歯科医師会</p> <p>(4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布  〔表 題〕「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」  〔制作数〕 750,000部  〔配布先〕 全国保健センター、各県研修会場</p> <p>(5) 歯科保健指導用パネル制作配布  〔表 題〕 歯科保健指導用パネル  〔指 導〕 (社)日本歯科医師会  〔制作数〕 725枚  〔配布先〕 都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係</p> <p>(6) 母子歯科保健教材セットの配布  〔対 象〕 1.6歳児または3歳児  〔実施方法〕 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。  〔配布教材〕 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット  3歳児用歯ブラシとリーフレット</p>	

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>10 妊婦等禁煙運動の推進</p> <p>(1)妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。</p> <p>1)ポスターの制作配布          [表題]「ママ、パパ、タバコすわないで」          [協賛] 明治乳業株式会社          [後援] 社団法人 日本産婦人科医会          [制作数] 20,000枚          [配布先] 都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等</p> <p>2)リーフレットの制作配布          [表題]「ママ、パパ、タバコすわないで」          - タバコは早産・低体重児の誘因になります -          [制作数] 86,000部          [配布先] 都道府県、関係諸団体等</p> <p>3)クリアファイルの制作配布          [表題]「ママ、パパ、タバコすわないで」          - タバコは早産・低体重児の誘因になります -          [制作数] 15,000枚          [配布先] 研修会開催県及び参加者等</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業          子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。</p> <p>(1)研修会の開催          鹿児島県 平成14年10月16日(水)          沖縄県 平成15年1月23日(木)</p> <p>(2)誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行</p>	

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>12 子どもの虐待防止推進事業  「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。  (1)研修会 延参加者数 1,288名  群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名  熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名  大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名  広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名  長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名  (2)テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。  テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部  規格:A5版、80頁、4色刷  著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人  リーフレット...「お母さん、子育てを楽しんでいますか？」  - 一人で悩まないで、私たちもお手伝いできます -  100,000部  著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p> <p>13 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催  本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康</p>	



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのちからだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元氣いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市立学校栄養士会ほか10席 エプロンシアター「三色の栄養エプロン」	
54.日本新生児学会		第38回日本新生児学会学術集会シンポジウムを平成14年7月14-6日に神戸国際会議場において開催した。 シンポジウム1.「これからの母子支援」1)より安全なお産を目指して、2)prenatal visit、3)母乳育児の推進、4)NICU長期入院児への支援、5)社会資源の有効活用、 シンポジウム2.「intact survivalを目指す多胎児の妊娠・分娩管理」1)多胎妊娠の発生源の解析と予防、2)多胎妊娠の流産の予防と管理、3)TTTS(discordant twin)の診断と管理、4)多胎妊娠児の予後 周産期専門医制度に関連して、日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本周産期学会などとの協議をしつつ、具体的な検討を開始した。	第39回日本新生児学会学術集会 平成15年7月13-5日開催予定、福島県郡山市 会頭講演：胎児仮死の用語をめぐって、招請講演：1. Fetal asphyxia and Brain Damage、2. Diagnosis and management of some major problems in twin pregnancy、3. life in the Womb、教育講演：1. 新生児低酸素性虚血性脳症に対する脳低温療法、2. 胎児外科治療、3. 胎児心拍数図の定義と解説、4. 肝炎ウイルスの母子感染、5. White Matter damage(PVL)のグローバル・ストラテジー、6. 妊娠糖尿病 シンポジウム1. 周産期専門医制度の設立に向けて、2. 母体血中胎児細胞・DNAの分析とその応用、3. 胎児子宮内環境評価の新たな展開と可能性、4. 周産期異常の修復・再建医療 (1)周産期専門医制度の平成16年度からの施行を目指す。 (2)周産期医療のサブスペシャリティの構築とサービス人材の質・量確保のための方策を検討する (3)新生児死亡率、罹病率のさらなる改善と育児不安の軽減を計るために行政と連携して施設基準を見直し、提言し、また関連学会との統合的刊行物を作成する (4)妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保のためのガイドライン策定 (5)出生前ケア、安全な出産とその後のケアのシステム

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
61. 日本糖尿病・妊娠学会	15.満足できる妊娠・出産への支援	<p>・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。</p> <p>・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。</p> <p>・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。</p> <p>学術集会2002年12月6日・7日開催、奈良県新公会堂 約300名参加</p> <p>概要</p> <p>1) 厚生科学研究「妊娠糖尿病のスクリーニングに関する多施設共同研究」?Japan Study Group of Assessment of GDM Screening (JAGS)?(中間報告)</p> <p>2) 教育講演:「糖尿病患者の妊娠・出産時の眼科的管理」</p> <p>3) シンポジウム:「糖尿病合併妊婦の体重管理はどうするか」</p> <p>4) ワークショップ:「蛋白尿や腎障害を伴う糖尿病と妊娠」</p> <p>5) ランチョンセミナー:「少子高齢化社会における生活習慣病としての糖尿病」「糖尿病患者への心理的アプローチ」?妊娠出産の心理的問題とその援助?</p>	<p>・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。</p> <p>・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。</p> <p>・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。</p> <p>学術集会 2003年10月24日・25日開催、新潟市民プラザ 約400名参加予定</p> <p>概要</p> <p>1) 特別講演:「糖尿病性腎症の予防と治療戦略」</p> <p>2) 招聘講演:「Obesity and diabetes in the offspring of women with diabetes during pregnancy」</p> <p>3) シンポジウム:「糖尿病をもった女性の計画妊娠?健やかな妊娠・出産に向けて?」</p> <p>その他 学会誌「糖尿病と妊娠」3巻を発行予定。 日本糖尿病・妊娠学会のホームページを随時更新する。</p>
63. 日本母乳哺育学会	15.46.48.49.52.	<p>15.46.48.49.52</p> <p>第17回日本母乳哺育学会学術集会開催 学術集会会長 佐藤郁夫(国際医療福祉大学教授) 平成14年9月28.29日 栃木県総合文化センター 教育講演:母乳と喫煙 大阪府健康福祉部地域保健課 島本太香子 特別講演:母乳育児とカンガルーケア 聖マリアンナ医科大学 堀内勤 シンポジウム 1:母乳育児と歯の考え方 青葉子どもと親の歯科医院 青葉達夫 2:母乳育児推進のための秘訣とジレンマ 梅田病院 梅田馨 3:母乳育児のコツとジレンマ-低出生体重児の場合 神奈川県立子どもセンター 大山牧子 4:母乳哺育推進のための秘訣と自宅出産 みづき助産院 神谷整子一般演題:多数 日本母乳哺育学会ニュースレター発行 日本母乳哺育学会ホームページ立ち上げ</p>	<p>第18回日本母乳哺育学会学術集会開催 学術集会会長 戸谷誠之(昭和女子大学大学院生活機構研究科) 平成14年9月19.20日 昭和女子大学80年記念館 オーロラホール他 特別講演:母乳と栄養 韓国女性の研究から- 檀國大学 金乙祥 教育講演:消化吸収と腸内フローラ 理化学研究所 辨野義己 公開講演会:母乳と離乳食の栄養学 聖マリアンナ医大 堀内勤 宮城県立こども病院 堺武男 パネルディスカッション 離乳・母乳育児継続への支援とは? 健やか親子21に向けて- シンポジウム 母乳の栄養学とその進歩 ニュースレター・ホームページの充実 一般市民への母乳育児の普及・啓蒙と情報提供のための母乳育児Q&amp;Aの作成 母乳に関する基礎研究・母乳育児に関する研究と、第一線現場での母乳育児支援を行っている専門家への情報提供を通して、各課題に貢献したいと考えています</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
65. 日本産業衛生学会		<p>就労女性健康研究会平成14年度事業報告            代表世話人 香川 順            就労女性健康研究会は第75回産業衛生学会期間中の2002年4月10日に特別報告と第4回の研究会を行った。特別報告は「職場における母性健康管理の現状と課題」を長井聡里先生から「性差に基づく医療からみた女性の予防医学」を荒木葉子先生からお話頂いた。同日の同会場で行われた研究会では「性差を考慮した定期健康診断とTHPのあり方-母性・女性の予防医学的視点から-」と題して「母性をめぐる就業管理のゆくえ」を長井聡里先生から「性差に基づく医療からみた女性の予防医学」を荒木葉子先生から話題提供いただき、今後の就労女性の定期健康診断のあり方についてその後活発な討論が行われた。その他、今年度は労働衛生国際協力研究会例会等に参加し「産業発展と女性労働に関する指針」の作成に協力してきた。また、第4回研究会の参加メンバーと共に第5回研究会の内容・講演者の検討、来年度の研究会活動につい</p>	<p>就労女性の健康管理の指導に必要な最新の知識</p>
69. 全国母子保健推進員連絡協議会			<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62.            1 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施            富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。            2 第3回母子保健推進員全国大会の開催            開催日:平成15年11月7日(金)            会 場:富山県民会館            3 母子保健推進員教育事業            母子保健推進員研修会の開催            4 本会議機関紙「母推さん」の刊行            「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日( 104 ~ 115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。            5 母子保健に対する知識の普及啓発活動            10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。            妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布            (表 題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう            働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会			6 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 [表題] ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布 7 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。 8 子どもの事故防止推進事業 9 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
74.健康日本21推進フォーラム	60.栄養・食生活の改善	<p>*「健康日本21リーフレット」栄養・食生活シリーズの作成            目的：健康日本21地方計画の実施に際して、全国の栄養士、都道府県および市町村が住民啓発用に配布、活用できる栄養指導媒体の制作            企画・編集・発行：社団法人日本栄養士会            制作協力：健康日本21推進フォーラム            協賛：健康日本21推進フォーラム会員社            発売元：株式会社法研配布            対象先：47都道府県栄養士会、47都道府県担当部署            配布部数：18万部（初回無償配布）初回分以降は頻布、1部30円            効果、その他：平成13年10月のNo.1の発行以来、現在までNo.12までシリーズとして発行されており、全国の栄養指導現場で活用されている。初回配布以後の頻布分でも、全国の各 市町村などからNo.1～No.12までの累計で20万部が販売されて活用されている。</p>	<p>健康日本21推進フォーラムは、「健康日本21」を産業界から支援する目的で、1999年11月17日に設立された任意団体であり、62の企業・団体（2003年3月現在）が参加して活動を行っています。平成15年度より、「健康日本21」のみならず「健やか親子21」への支援も活動目的に付加し、本年度より取り組みを開始する予定です。            平成15年度の活動目標            1) 科学的根拠に基づいた健康情報の発信            2) 健康日本21推進全国連絡協議会及び健やか親子21推進協議会加盟団体との連携強化            3) 地方計画（都道府県・市町村計画）への支援活動            4) 会員社・団体による広報・広告活動の推進            本年度は、まず「健やか親子21」への認知・理解を深めて、企業・団体の立場からどのような支援が行えるかを模索していくことが活動の中心になります。予定されている活動は、下記です。            * 第三回会員総会（5/14）での特別講演「健やか親子21について」講演者：平山宗宏先生（健康日本21推進フォーラム理事に就任予定）            * 健康日本21推進フォーラム講演会（年4回開催）「健やか親子21」に関連した講演を開催予定（時期、内容未定）            * 自主研究会会員社による自主研究会活動において、「健やか親子21研究会」を設置する予定。            * 健やか親子21推進協議会との連携施策自主研究会などを通じて、どのような連携施策ができるかを検討していく予定。            * ホームページを活用した情報発信フォーラムのHPコンテンツの中に、「健やか親子21」に関連した</p>